

大阪 あちこち

●史跡 観心寺・金剛寺を訪ねて

金剛寺は河内長野市の南西部に、観心寺は北東部にある大規模な真言宗の寺院であり、ともに市域の発展とともに栄えてきました。両寺院は、奈良時代に創建された伝説をもっており、平安時代後期に再興されました。その後、両寺院は、ともに太平記の舞台となり、南朝の行在所（仮の政府庁舎）になったこともありました。



金剛寺



観心寺

さて、両寺院の敷地は、ともに広大であり境内や周囲には美しい自然環境が広がっています。清寂につつまれた境内を歩くと、四季折々の美



金剛寺子院群

しい花々を見ることができます。また、いたる所に歴史を感じさせる建物が建っており、さながら京都や奈良へでも迷い込んだような錯覚におちいります。このような建物には、平安時代や鎌倉時代に建てられたものも多く、改めて両寺院がもつ歴史の重みを感じることができます。

このような巨大な建造物に隠れて、つい見落とされがちですが、戦前や戦中に建てられた記念碑も数多く遺されています。これらは、天皇に忠義を尽くした楠木正成のゆかりの地として両寺院が注目をあつめたことを今日に伝えるものであり、日本がかつて軍国主義の道を行っていた史実の証人となっています。

金剛寺・観心寺へは、南海高野線・近鉄長野線の河内長野駅より南海バスで、天野山バス停下車すぐ（金剛寺）、観心寺バス停下車徒歩2分（観心寺）です。

▼お問い合わせ先▼

河内長野市教育委員会社会教育課

TEL 0721-53-1111

E-mail kyousha@mbox.city.kawachi-nagano.osaka.jp